

乾燥工程の見直し

手動多槽式洗浄装置(他1台乾燥装置)
 金属めっきの脱脂洗浄、乾燥(トリクロロエチレン)
 洗浄剤年間使用量10~20トン従業者数1~20人

対策前



手動5槽式
 洗浄装置の内部
 (洗浄カゴと
 細かい被洗浄物)



手動2槽式
 乾燥装置の内部



手動2槽式
 乾燥装置の
 局所排気口

対策後



(直接加熱法) 吸着回収装置
 [予定]

主な検討対策内容

- 局所排気方法の検討..... 局所排気の吸引口の場所で溶剤蒸気の濃度が大きく異なるため、ダクトの改善を検討。(「自主的取組マニュアル」10ページ)
- 蓋、カバーの設置..... 小さい形状の被洗浄物が多い。このため長時間、液切り用カゴ放置スペースに洗浄カゴを放置していることが多いので、洗浄槽上部開放箇所にシャッター式横引き蓋導入を検討。(「自主的取組マニュアル」13ページ)
- 回収装置の導入..... 小型で安価な吸着回収装置導入を検討。(「自主的取組マニュアル」19~25ページ)

VOC排出抑制効果

回収装置導入が進めば、大気排出量は約80%削減される見込み。

	現 状	対策後の推定	
		対策後の推定量	増減率
トリクロロエチレン使用量	約16トン/年	約10トン/年	約40%減
大気排出量	約8トン/年	約1.5トン/年	約80%減

なお、回収・再生量も1割程度増加する見込み。